



『 隅田川の橋を考える 』

2014年7月27日(日) ・ 10時 ・ 吾妻橋西橋詰(東武浅草駅側)集合

10:00 吾妻橋西橋詰集
[東武浅草駅側]

吾妻橋
↓
駒形橋
↓
厩橋
↓
蔵前橋
↓
両国橋

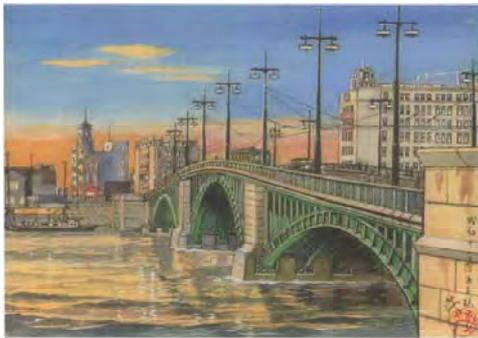
12:00 両国橋解散

都市環境デザイン会議を含む8団体の共催で、2014年2月22日に台東区立浅草文化観光センターにおいて『都市デザイン交流会フォーラム2014 -隅田川の景観・歴史的橋梁の文化的価値を考える-』が「吾妻橋の塗替えに伴う色の問題」を中心に開催されました。

今回は、今話題の「吾妻橋」を出発点として、下流に下り、関東大震災の復興事業で架橋され、いずれも「東京都著名橋」、「東京都選定歴史的建造物」に指定されている「駒形橋」、「厩橋」、「蔵前橋」、「両国橋」の現状を見ながら隅田川における橋の位置づけを考えたいと思います。

なお、「両国橋」で解散後、オプションで両国より隅田川を下る水上バスツアーも用意してあります。川面より、隅田川に架かる各橋をご覧頂ければと思います。

◎ 浅草・お台場クルーズ(浜離宮 620円、お台場海浜公園 1,130円)
両国[12:30]-浅草二天門[12:40]-浜離宮[13:25]-お台場海浜公園[13:45]



吾妻橋 [小松崎茂 昭和の東京]



江戸時代の吾妻橋 [浮世絵]



駒形橋 [竣工当時]



蔵前橋 [竣工当時]



両国橋 [富嶽三十六景]



両国橋 [浮世絵]

■ 参加費 [当日参加可]

JUDI会員・協力法人関係者 500円

一般 1,000円 ・ 学生 無料

◎ 参加申込 : kurihara@u-planet.jp

見学する橋梁の概要

吾妻橋

架橋年(初代)	:	1774年(安永3年)
架橋年(現橋)	:	1931年(昭和6年)
構造形式	:	三径間ゲルバー鋼桁橋
橋長・橋幅	:	L=238.7m、W=22.0m
施行主体	:	東京市復興局
設計者	:	東京市土木局橋梁課
施工者	:	架設者 橋桁制作 横川橋梁製作所(現:株式会社横河ブリッジ) 下部工 合資会社銭高組(現:株式会社銭高組)
管理者	:	東京都 [東京都著名橋、東京都選定歴史的建造物]



駒形橋

架橋年(初代)	:	[現橋が初代]
架橋年(現橋)	:	1927年(昭和2年)
構造形式	:	3径間鋼ソリッドリブタイドアーチ橋
橋長・橋幅	:	L=150.0m、W=20.0m
施行主体	:	東京市復興局
設計者	:	東京市復興局橋梁課・岩切良助
施工者	:	架設者 日本工業合資会社 橋桁制作 汽車製造株式会社(現:川崎重工業株式会社) 下部工 東京市復興局(一部直営) 日本工業合資会社(一部請負) 鉄道工業株式合資会社(一部請負)
管理者	:	東京都 [東京都著名橋、東京都選定歴史的建造物]



厩橋

架橋年(初代)	:	1874年(明治7年)
架橋年(現橋)	:	1929年(昭和4年)
構造形式	:	3径間下路式タイドアーチ橋
橋長・橋幅	:	L=151.4m、W=22.0m
施行主体	:	東京市復興局
設計者	:	東京市土木局橋梁課
施工者	:	架設者 橋桁制作 株式会社浅野造船所(現:JFEエンジニアリング株式会社) 下部工
管理者	:	東京都 [東京都著名橋、東京都選定歴史的建造物]



蔵前橋

架橋年(初代)	:	[現橋が初代]
架橋年(現橋)	:	1927年(昭和2年)
構造形式	:	3径間連続上路式ソリッドリブ2ヒンジアーチ および上路式コンクリート固定アーチ
橋長・橋幅	:	L=173.2m、W=22.0m
施行主体	:	東京市復興局
設計者	:	井浦玄三
施工者	:	架設者 橋桁制作 有限責任石川島造船所(現:株式会社IHI) 下部工 東京市復興局(直営)
管理者	:	東京都 [東京都著名橋、東京都選定歴史的建造物]



両国橋

架橋年(初代)	:	1659年(万治2年)または1661年(寛文元年)
架橋年(現橋)	:	1932年(昭和7年)
構造形式	:	3径間ゲルバー式鋼桁橋
橋長・橋幅	:	L=164.5m、W=24.0m
施行主体	:	東京市
設計者	:	東京市土木局橋梁課
施工者	:	架設者 橋桁制作 有限責任石川島造船所(現:株式会社IHI) 下部工 株式会社間組(現:株式会社安藤・間)
管理者	:	国土交通省 [東京都著名橋、東京都選定歴史的建造物]

